

令和3年度 第1回小牧市地域協議会推進市民会議 会議録

- 1 **開催日時** 令和3年5月13日（木）
午前10時～午前11時30分
- 2 **開催場所** 小牧市役所 本庁舎6階 601会議室
- 3 **出席者**
 - (1) 推進市民会議委員 16名
(欠席 落合委員、水原委員、山田委員、梅田委員)
 - (2) 事務局 健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課
伊藤課長、臼井係長、岡田係長、丹羽主事、石川主事補
 - (3) 傍聴者 0名
- 4 **会議資料**

会議次第、名簿

資料 1 地域協議会の活動状況（令和2年度）

資料 2 （仮称）地域協議会の手引書（案）
- 5 **会議内容**
 - 1) 会長あいさつ
 - 2) 地域協議会の活動状況の報告
 - 3) 地域協議会の手引書
 - ① 書面協議により頂いた意見の反映について
 - ② 地域協議会の手引書の校正について
 - 4) その他（次回以降の会議予定）

【事務局】

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

お時間になりましたので、ただいまより第1回小牧市地域協議会推進市民会議を開催させていただきます。

会に先立ちまして皆様にはお願いです。

現在令和3年4月25日より、4都府県を対象に発出されておりました国の緊急事態宣言が延長され、また、昨日より新たに愛知県も宣言の対象区域となっております。

そこで急遽オンラインでの開催をご案内させていただき、会長をはじめ数名の方が本日Webからご参加いただいております。

急な開催方法の変更にも関わらずオンラインでの開催にご協力をいただきました委員の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございます。

本日、3名の方の欠席のご連絡をいただいております。

まだお一方到着されてみえない方が見えますが、予定通り開催したいと思っております。

事務局としましても不慣れな点が多々ありますので、委員の皆様にはご不便をおかけすると思っておりますが、何卒ご容赦下さい。

まず、会議を始めます前に、この会議は小牧市地域協議会推進市民会議設置要綱第5条第3項に基づき、会議は公開することとされております。

本日は傍聴の申し出はありませんので、ご報告させていただきます。

それでは、次第に沿って進めて参ります。

会に先立ちまして、市民憲章の唱和を行っているところでございますが、こちらにつきましては省略の方、させていただきます。

次第の1、会長挨拶としまして、加藤会長からご挨拶をお願いいたします。

【加藤会長（オンライン）】

皆様、おはようございます。

会場の方、聞こえますか。

何か会場の方は横側しか見えないっていうこのなかなか特殊なケースで、みんな画面の方を見ているんですね。

聞こえている人ちょっと手を振ってもらっていいですか。

ありがとうございます、よろしくお願いします。

挨拶というより、まずもってこういう状況下で日々ルール変更が行われる中で急遽小牧市さんがリモート併用で、ハイブリッド型で、この会を何としてもやろうと努力されたこと、トライされたことにまず敬意を表したいと思います。ありがとうございます。

それで、たぶん音声のこともそうだし、映像のこともそうだし、会の運営そのものがひょっとしたら途中でうまくいかなくなったり、トラブルがあったりすると思うんですけど、これはもうみんなに与えられたトライアルだと思っているので、一緒に乗り越えていければいいので、シャンシャンでうまく終わることではなくて、なんかこのトラブルさえもきっかけにして、一緒に乗り越えていけるような、そういう会に、1時間ですけど、挑戦したいと思いますので、今日はよろしくお願いします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは会長に進行をお願いしたいと思います。

加藤会長、よろしくお願いたします。

【加藤会長(オンライン)】

はい、わかりました。

では皆さん、お手元に次第、今日大きな議題としては3つあって、4つ目がその他になっているんですね。

1つ目の会長挨拶は終わったので、地域協議会の活動状況の報告、おそらく資料が皆さん郵送で送られてきたものがあると思うので、A3の2つ折りだったかな、それを見ながら聞いていただけるといいと思います。

じゃあ事務局の丹羽さんからかな、ご説明をよろしくお願いします。

〔事務局より資料1に基づき説明〕

【加藤会長(オンライン)】

ありがとうございました。素晴らしい。

もちろん履行率が3割とか落ちるのは当然のことですけど、その中でもいろいろな工夫をされて、Webでデータを公開したり、オンラインで講話をやったり、面白いなと思ったのがやっぱりさっきの農園、屋外でやるのは密にならないということもあるので、防災訓練しかり、屋外での活動ががんばってやられているんだなという印象です。

あと、人件費や交流拠点、活動拠点、そういう場所の確保だとか、人の確保にも、だんだん手が伸びているっていうのは面白いと思って聞かせてもらいました。

では、他の委員さん、Webの方も、現地にいらっしゃる対面の方も、何かこれどうなっているのとか、うちのこれ載ってないけどとか、そういうご質問とか確認したいことがありましたら、手を挙げてもらってもいいですかね。

手を挙げられてもちょっと見にくいんですが、何でもいいですよ、感想でもいい。関さんどうぞ。

【関委員（オンライン）】

よろしくをお願いします。

ワクティブこまきの関と申します。

皆さんコロナ禍の中でも活動されていて、お話を伺いながらすごいなと感心して聞かせていただきました。

私達は団体さんをコーディネートしたりですとか、活動の相談を受けたりということ普段業務でしているのですが、皆さん今こういう活動したいんだけども困っているみたいなことがもしありましたら、お聞かせいただければと思っていますがいかがでしょうか。

【加藤会長（オンライン）】

どうですかね、会場の皆さん中心だと思うんですけど、何かこれ困つとるよとかってあります。

ない、ないですか。

もしあったら関さんのワクティブこまきの方に行って、ちょっとこういうことやりたいんだけどどうしたらいいか、こういうこと困っているんだ

けどとかあったら、電話でもいいのかな。

ちょっと相談すると、何かヒントがもらえるかもしれないね。

【関委員(オンライン)】

よろしくをお願いします。ありがとうございます。

【加藤会長(オンライン)】

他、ありませんか。なかったら次行こうかな。

どうぞ。

【吉田委員】

味岡小学校の事務所についてです。

事務所の開設はすごいなと思っておりましたが、区の会館を借りるとなると、反対論というか、味岡小学校区内の一会館を使用するということについて、第三者からの反対などがあったかどうか、その辺の事情をちょっとお聞かせ願いたいです。

【加藤会長(オンライン)】

はい、じゃあお願いしてもいいですか。

味岡小学校区の事務所・拠点の整理がみんな諸手を挙げて賛成だったのか、反対意見があったのかという質問でしたね。

じゃあお願いします。

【事務局】

味岡小学校区の活動拠点に関するご質問ですが、味岡小学校区では小松寺区の会館の一階にある一室を活動拠点とされております。

少人数の打ち合わせ等はその部屋で行っておりますが、多くの方を集めての会議はその会館の二階にあります大会議室を小松寺の地域の方と同様のルールに従って使っている状況です。

当初は仰る通り、会館を地域協議会に占有されてしまうのでは、と懸念をされる方も見えましたが、地域協議会と区とで何度か打ち合わせを重ねられまして、最終的には、覚書を取り交わされて、地域協議会の部屋とす

ることを了解いただいているという風に聞いております。

【吉田委員】

年間契約ですか。有料で。

【事務局】

そうです。

【吉田委員】

料金はどれくらい。月いくらくらい。

【事務局】

手元に資料がないものですから、確認してまたこちらからお伝えいたします。

(確認後) 月額 3,000 円です。

【吉田委員】

他の地域協議会では、未だに拠点がないところもあるものですから、みんなが心配しておるわけで、その辺は見守っていく必要があると思います。ありがとうございました。

【事務局】

補足になりますが、現在、地域協議会として拠点を所有しているのが陶小学校区、篠岡小学校区、大城小学校区、味岡小学校区、小牧小学校区、桃ヶ丘小学校区の6協議会となっております。

【加藤会長(オンライン)】

はい、ありがとうございます。

関心が高い分野だと思うので、紹介するときに、そういう裏情報もふくめて教えてあげるとみんなの参考になるかもしれませんね。

まだまだ全部拠点があるわけではないので。

他何かありますか。聞いてみたいこととか。

お願いします。

【稲垣委員】

2点ばかりお聞きしたい。

篠岡小学校区の中で青色回転灯パトロール隊を結成されて、見守り活動をしてみえると思いますけど、この時に軽トラを入手しているとのことですけど、これは地域協議会で軽トラを購入されているのか、いくらくらいで購入されているのか、その辺分かればちょっと教えていただきたいのが1点。

もう一つは、本庄小学校区のごみ問題啓発事業ということで、ごみ問題の啓発をどのようなことをして見えるか、ちょっと分かっていたら教えてください。

【加藤会長(オンライン)】

はい、いい質問ですね。

軽トラの話とごみ問題啓発の話をお答えいたします。

【事務局】

はい、ご質問の青色回転灯パトロールの関係ですけれども、今加藤会長からもお話がありましたが、地域協議会がリース契約をされております。

ですので、毎月リース料をお支払いして借りているというような格好になります。

リース料につきましては申し訳ありませんが、金額につきましては資料がございませんので、また後程委員にお伝えするようにいたします。

また、本庄小学校区のごみ問題啓発事業につきましては、市のやっております出前講座という事業を活用されまして、市のごみ政策課の方からですね、ごみ問題につきまして、地域住民、特に区長様を中心に区の役員に説明をされまして、その内容を各区に持ち帰って、啓発いただいていると聞いております。

以上で説明を終わります。

【加藤会長(オンライン)】

はい、ありがとうございます。

今度から金額いくらよというのはやっぱりバックデータとしてちゃんと取っておくといいかもしれないね、みんな関心高いから。

他の質問どう。もう大丈夫かな。はい、鳥居さん、お願いします。

【鳥居委員】

会長もいわれたように、私一色のふれあい農園について言おうかなと思っているんですけど、やっぱり今どこでも休耕田とか畑やられない場所多いんですよね。

このことでもいいなと思っているんですけど、ただこれって隣に隣接する農家の方とのコミュニケーションがすごく大事になってくるんですよ。

駐車場問題もそうですし。

その辺りをどのように解決なさっているのかちょっとお聞きしたいと思ひまして。

【加藤会長(オンライン)】

いい質問ですよ、ふれあい農園ね。

【事務局(オンライン)】

オンラインで失礼します。

一色のふれあい農園は犬山市との市境にある土地で、協議会の会計をしていらっしゃる方が所有していらっしゃる土地でした。

周りも全て田畑になっており、広く使えるところでして、取り立てて近隣の方と細かい調整をとすることはありませんでした。

そのまま貸していただける役員さんとの調整の中で、そちらを協議会に無償で貸与していただいて、農園の方の開墾等を始めたところになっております。

以上です。

【加藤会長(オンライン)】

はい、ありがとうございます。

いいかな、鳥居さん。

【鳥居委員】

駐車場問題というか、自転車でくるとか車で来る人いるんですよ、農道具とかもってね。そういうところも別に借りられるんですかね。

【加藤会長(オンライン)】

はい、どうぞ。岡田さん。

【事務局(オンライン)】

土地そのものはかなり広いものですから、畑の端に車を十台ぐらい止められています。非常に恵まれた条件で貸していただいている所でございます。

【加藤会長(オンライン)】

はい、ありがとうございます。

鳥居さん、いいかな。

【鳥居委員】

はい、いいです。

【事務局】

では資料1の続き、新型コロナ禍での事業の取り組みについて、説明いたします。

【加藤会長(オンライン)】

はい、じゃあお願いします。

[事務局より資料1に基づき説明]

【加藤会長(オンライン)】

ありがとうございました。

とりあえず情報の共有ということなので、本題の、今日の一番肝心のと

ころに行きたいと思います。

議題でいうと3番ですね。

地域協議会の手引書ということで、(1)のところでその手引書を皆さんの声を聴いてどうやって直したかということや全体の枠組みの説明をしてもらうので。

その後構成についてということですね、内容についてね、特に後半の紫色の地域協議会の期待についてみんなで話すことになると思うので、ちょっとそれを心して今から説明を聞いていただけると、その後の対話の時間が有意義になると思うので。

じゃあ冊子、分厚いホッチキス止めのやつを用意して聞いてください。お願いします。

〔事務局より資料2に基づき説明〕

【加藤会長(オンライン)】

仮でもいいからページ番号はあった方がいいね。

4枚めくってとかはやっぱりわかりにくいし、どこを説明しているのかわからなくなっちゃうので。

この後同じテーブルの方、Webの方はこのままの状態、10分ほど少人数でお話しをする時間を取りたいと思います。

一人ずつの場合のところは3人になってもらうよう、事務局さんサポートしてあげてください。

10分で何を話すかということ、先ほど説明いただいたこの手引、もう少しここ良くしたらいいよとか、ここ確認したいというところをちゃんとチェックして、後で共有していきます。

そのためにお手数ですけど、やっぱり皆さん手元の資料のページ数って書いてあるところに数字を入れていくと後で分かち合う時に参照しやすいので、ちょっと走り書きで書き入れつつ、10分間、ペアの人とおしゃべりをしていただけるとありがたいかなと思います。

Webの方は関さんと伊藤先生、それから安藤さんかな、そのお三方で会場のマイクはオフにしてくださるそうなので、会場には声聞こえないような状態でおしゃべりできるようになります。

10分後にちょっとなんか気づいたことだとか、よりよい提案が分かち合えるように、おしゃべりできればなと思いますが、できそうかな。

会場の人 OKなら手を挙げてもらっていい。

じゃあ行きますよ。10分間有意義な時間を。

特に地域協議会に対する期待、紫のページ以降のことを事務局としては期待していますということです。

では10分後にお会いしましょう。

よろしくお願いします。

[10分間 意見交換]

【加藤会長(オンライン)】

じゃあ、一応10分終了したので、伊藤先生申し訳ないですけど今の話をうちのグループでは、って形でお願ひします。

では、全体に戻りますね。

会場の皆さん聞こえますでしょうか。

じゃあ、今10分間お話しして、それぞれのページでね、こうしたらもっと良くなるんじゃないかなというお話をなされたと思うんです。

Web側、リモート側は僕ちょっと一緒にお話を聞かせてもらってとてもいい提案がいっぱいあったんですけど、会場でもおそらくそういう話をいっぱいなされたと思うので、ペアの方のどちらかお一人で結構です、うちのグループではこういう話をしたよとか、このページのここをこうした方がもっといいんじゃないかとか、そういうのをシェアしていきたいと思うんです。

じゃあ、ちょっと僕の方からはほんと見えないので、事務局さんの方で順番にマイクを回すというか、当ててあげてもらっていいですかね。

会場の皆さん、再開したいと思います。

【新家委員】

はい、私は小中学校校長会の方で代表を務めさせていただいております新家と申します。

ここで話が出たのが、学校の立場ということもありますので、その関係

で見させていただいていると、僕自身も住んでいる地域は本庄なんですが、学校は光ヶ丘にありまして、光ヶ丘では地域協議会の方と色々な形で関わっていました。

では本庄のほうで何が出来ていたかというところ、非常に難しい、何もできていない心苦しい面があります。

さっき活動拠点の話にも通じますが、冊子の一番最初の部分で、いろんな立場の人が参加できるようにという文言があるのですが、そういったところでどうしても我々は通常時間参加がなかなか難しい面があって、場所もそうなんですけど、時間帯とか、そういったところが何かうたわれてくると、また違ってくるかなという意見を自分もお伺いして確かにそうだなということでした。

すみません、そんなところしかありませんが。

【加藤会長(オンライン)】

はい、十分です、ありがとうございます。

参加しやすい時間帯、場所だけでなく時間帯ということですね。

それも付け加えたらどうでしょうということ、とっても良いと思います。

では、次のテーブル行ってもらってもいいですか。

【鳥居委員】

では、3人それぞれ言いたいですか。

【加藤会長(オンライン)】

3人それぞれ。どうぞ、お願いします。

【大杉委員】

生活支援サービス ラポールの大杉です。step1の6ページですね、アンケートの例を掲載していただいております。

私自身いろいろな団体で福祉のアンケートをいろいろ見ていた時に、設問の内容によっては結構違うなと思います。

単純にいうと難しい。

それぞれの分野、5つの分野についてのひな型は事務局の方で準備を致しておりますという掲載を入れていただいて、なおかつ、HPでそれをダウンロードできる、編集可能な形にさせていただければなあと思っております。

【加藤会長(オンライン)】

では、ご提案ということで。

ひな型+編集可能なデータをダウンロードできるように。

大杉さんありがとう。とっても良い意見だと思います。

では、お一人ずつということで、あと2人、鳥居さんと誰かな。

【鳥居委員】

20ページ、地域協議会の防災についてということでありますけど、文章が「意識は高まりつつあります。」と書いてありますけど、大きいタイトルで「防災体制の強化」と書いてあるので、「地域における防災体制の強化に努めます。」というような内容にさせていただきたいというのが一点。

それと、21ページの学区防災訓練の継続と発展というところで、この内容にプラスして、具体的な計画に基づいた訓練をしていくことにさせていただきたいんですよ。

広報に力が入って、あまりコロナで訓練になってないので、訓練をやりつつ、啓発をやると良いなというように、両方をしっかりできれば良いなと。

あと、22ページですけど、地域の防災リーダーの育成は良い。

あとは防災担当者同士が話し合う場を設ける、(2)とよく似ているんですけど、話し合いの中身がですね、避難所運営委員がいるのは良いんですけど、やっぱりリーダーとしてやらなければならないことを話し合うことでリーダーとしての自覚が生まれると思うんですよ。

それが一点と、やはり防災に関心を持っていただく講座をしていただくのも良いかなと。

あと防災リーダー会との協働って書いてあるんですけど、そこに小牧災害ボランティアの会も共同でやってるものですから入れて下さい。

それで最後、先進事例団体のところに防災リーダー会、小牧災害ボランティアネットの会と書いてありますが、これだと何をやってる団体かわからないので、防災リーダー会は防災啓発に関すること、災害ボランティアネットの会は災害時の災害ボランティア支援センターの支援と災害ボランティアに関することだと書いていただけると地域協議会の方も分かりやすいと思います。

【加藤会長(オンライン)】

そうだね、読んだ人は分かるね。

【鳥居委員】

これは他でも多分言えると思います。

防災に関してはいろいろと資料があるので、さっき言ったアンケートと同じように地域協議会の手引から見られるようにする。

あるいは、市のマニュアルを見られるようにするとか。

参考資料をつけていただける、HPを見ればすぐに見れるようにすると活用できると思いますので、なるべくただ見るだけでなく、活用してもらえるような手引きにした方が良いでしょうと思います。

【加藤会長(オンライン)】

とっても良いね。

具体化することとこのページに書けないことをしっかり補足するような仕組みがいるってことだね。

ありがとうございます。

【水野委員】

小牧小学校区の水野です。よろしくをお願いします。

15 ページ、地域協議会の事業ということで、環境問題を入れたほうが良いんじゃないかという意見があったのですが、私もそうだと思います、実は地域協議会の制度方針というのが、令和2年4月1日に制定された制定方針という冊子があるんですね。

その中の記載と合わせるようにした方が良いでしょう。

これが1点、それからもう1つはですね、ページ1なんですけど、地域づくりミーティングを企画しようというところなんですけど、その後に2ページ、4ページ、5ページまで(1)、(2)、(3)とあるんですけど、(1)のKJ法、(2)のまち歩きによる地域づくりミーティング、これはみんな話合、地域づくりミーティングだと思っんですよ。

それで言いたいのは、5ページの(3)アンケートによる地域づくりミーティング、これはこの範疇から外れてると思っんですよ。

例えば、アンケートによる地域の意見の把握ですとか、でない、アンケートだけでは地域づくりミーティングをやったとは言えないと思っんです。

【加藤会長(オンライン)】

そうですね、今のところはどちらかという、step1の現状把握にかかっている、アンケートによる現状把握だとか、そういう風に変えたほうが分かりやすいかもしれない。

地域ミーティングは全てにかかっているという、集まりのことを地域ミーティングと言うんだからという意味です。

はい、ありがとうございます。

お三方から濃い意見が出ましたので、一応ちょっとそれは事務局の方で一旦預かっていただいて、次行きましょうか。

小柳さん、お願いします。

【小柳副会長】

私は桃ヶ丘小学校区の地域協議会の会長を仰せつかっていて、その立場からすると、この手引きを見させていただいて、協議会の活動を展開していったときに、今のところかなり厳しいものがある。

この手引きを頂いて活動をするまでに、地域としてどのようにかみ砕いていくということが重要だと思っっております。

この中で去年から考えておったんですけど、一つは多文化共生をどうやってやっていくかということを実は考えております。

桃ヶ丘小学校の生徒数が450名前後なんですけども、外国籍の方が79名なんです。

これだけ外国籍の子供たちがおるということは保護者もおるということですからそこを巻き込んでいかないといけない。

手引書も含めてそういうことできるか分かりませんが、ちょっとしてみたい。

たまたま現在、町内の評議員さん、組長さんに外国籍の方に参加していただいております。

そういう人たちをきっかけにして、進めていきたいと思っておりますので、手引きは手引きとして私は受け止めながら、地域としてどうやってかみ砕いていくかが重要だと考えております。

【加藤会長(オンライン)】

はい、ありがとうございます。

とっても重要な指摘だと思います。

マニュアルの現場へのアプライとか地区へのアプライとかその実践というのとマニュアルそのものの橋渡しをしていかなければいけないというのはこちらの Web の方でも話をしていました。

それと多言語というかいろんな国籍の人がいる中で、マニュアルを渡されて分かち合うのは難しいので、これを多言語化するのかそれともかみ砕いて伝えるのが日本人の役割なのかその辺も含めて考えていかねばならないとこだなという指摘だと思いました。

では次のグループ、大分時間が押しているから、次のグループ行きましょうか。お願いします。

【平坂委員】

一色小学校区の地域協議会の委員をさせてもらっています。それと多文化の方で一色コスモスサポート学習の会で代表をさせてもらっています平坂と申します。

今、小柳委員が言われたように、私の活動自体が多文化ということで、外国籍の子供たちのサポートと日本語が習得できていないお父さんお母さんの指導と子供たちの居場所を考える活動をしているのですが、やっぱり問題や課題は結構たくさんあります。

そのために地域で何ができるかということで、一色小学校区はやっぱり

外国籍の人も多いので、このふれあい農園というところが拠点になっていけばいいかなと考えております。

外国籍の方の野菜をみんなで栽培して、それを食文化に活かせるようにそれぞれの国籍の料理をできるようにしていこうかなと考えております。

その中で、お父さんお母さんの日本語習得の場にもなれば良い。

【加藤会長(オンライン)】

それが一番良いですね。繋がるよね。

【平坂委員】

文化交流、食文化交流、日本の子供の言語の交流はみんな楽しく参加してくださっていますね。

それができるように取り組んでいけたらと思っています。

子供の現状から言って私はフードバンクっていうところとか余った食材を頂いて子ども食堂ができたらなというのは思っています。

またいろいろ参考になる意見をいただけたらなと思っています。

【加藤会長(オンライン)】

はい、ありがとうございます。

とっても具体的な話で良かったと思います。

32ページのところで「食」で知る多文化という記載もありますけど、その具体的な展開とか、親御さんへの波及だとか、語学のことだとか、そういうのも併せてだということだと思えます。

とっても良いご提案どうもありがとうございます。

では、あと1組、1テーブルあると思うので、はい、お願いしていいですか。

【吉田委員】

民生委員の吉田と申します。お隣の稲垣委員さんは社協の会長をやっておりますけど、私は民生委員の代表を務めさせていただいております。

共通した点でいうと、この手引書をどの程度発行されるか、地域協議会

の運営委員をやっている方には全員渡るようにしていただかなければ、使い物にならないと思うんです。

ただ作ったというものではないと思いますので、大いに活かしていただきたいと。

また地域協議会が未設立の校区がまだ三つばかりありますが、設立への参考資料にしていただきたいと思います。

福祉に関することでは、30ページ、こども食堂のところに括弧して親子食堂と、子どもしか行けないわけではないよと。

今日の新聞にも出ておりますが、コロナの影響で、朝食を食べてきていない子どもが1割ぐらいいるらしいです。

お腹を減らしては勉強も頭も回らないと、そういうわけでこども食堂を大いに開設していただきたい。

北外山にあります、とよめサロンという会館でこども食堂が初めてされて、スタッフとしてボランティアの子たちが弁当を作っております。

私も見学に行きました。

子どもはもちろん親子でも大人でも良い。

みんなニコニコしていて、本当に良かったなと思いました。

これを市内全体に広がれば、子どもの孤立、孤独、居場所、そういう意味では非常に助かるのではないかなと思っておりますので、これは福祉関係の共通課題とさせていただきたいと考えております。

【加藤会長(オンライン)】

ありがとうございます。

じゃあ会場の方は全部のグループが話をしてくださったと思うので、Webの方の、リモートの側でお話をした内容を関さんとか途中対応で席を抜けられたので、伊藤先生からまとめてご指摘をお願いしたいと思いません。

じゃあ最後、拍手お願いします。

【伊藤委員(オンライン)】

お願いします。皆さんこんにちは。

見ていただきたいのがまず、29ページ、30ページの児童交流のペー

ジをご覧ください。

先程こども食堂の話もありましたが、総括して言うと、個々の事業はどんなことをやればいいのかということのをこれからそれぞれ地域協議会で高めていこうとすると迷われるということで、どういう団体さんがあるのかということについては、情報開示していただいて、今関係団体書かれているんですけど、それだけではないと思うので、どんな団体さんがあって、主にどんな活動されているのかということを紹介していただくといいかなということが1点です。

それからもう1つは、児童交流、29ページで、例えば心理的な問題を抱えたお子さんであるとか、孤立しているお子さんであるとかというのがいるとうまく交われないというお子さんがいたりして、そうしたお子さんにお声がけをして、30ページに書かれているようなこども食堂に誘ったりだとか、学習支援に誘うというような繋ぎの役割を求められている。

これは多分、他の分野でも同じだと思っていて、イベントの度に定期的な事業に対してその人が来ると良いなという声掛けをしていくような繋ぎの役割が出てくると良いかなというのが全体に対するコメントだと思います。

それと30ページの関係団体の一番下のところに「小学校/PTA/おやじの会」ってあるんですけど、小牧は学校運営協議会、いわゆるコミュニテイスクールっていうのがあるので、それを入れていただければどうかという意見がありました。以上です。

【加藤会長(オンライン)】

ありがとうございます。素晴らしい。

ということでとってもこの短時間で素晴らしいご提案とか、ご意見をいただいたんですけど、全部に答えるのは難しいと思います。

全体に係ること、例えば発行部数とか、このマニュアルに盛り込めなかったことを例えばQRコードとかで飛ばしてダウンロードできる、参考資料を見ることができる、ワクティブこまきみたいなところに困った時は直接分野に関わらず相談できる窓口を表記したり、横出ししたりすることは可能なかどうか、ちょっと事務局としての手間は増えると思うんだけどね、その辺についてお返事できる範囲で構わないので、お返事いただいて

もいいかな。

はい、お願いします。

【事務局】

配布部数の件ですが、事務局としては、各地域協議会の委員の方には一人一部ずつ持っていただけるようなイメージをしておりますが、最終的には、この会議のなかで協議いただき、予算化していきたいと思っております。

それから QR コード等でここに入らないものを外に、外にあるものをここに載せていくということはぜひやりたいなという風に思いますので、市にあります避難所運営マニュアルですとか、市のホームページにすでにあるものは、そこへの URL、または QR コードで飛ばしていこうという風に検討しております。

団体に関しましては、関事務局長もいらっしゃいますが、ワクティブこまきさんの方で多く把握されておると思っておりますので、そちらと連携しながら記載できそう、紹介できそうな団体さんにはお断りを頂いて、記載させていただくということを検討したいと思っております。

アンケートのひな型については、今資料の方に記載のものが、本庄小学校区さんが実施されたアンケートの記載を参考にしておりますので、これであれば、本庄小学校区さんのお断りを取って、ひな型として配布することはできると思っておりますが、現在、市の方で地域づくりに関するアンケートのひな型というものがあるわけではございませんので、もしそういったものを作ったほうがいいとのことであれば、ご意見として頂戴して、支え合い協働推進課の方で検討したいと思っております。

【加藤会長(オンライン)】

はい、ありがとうございます。

ぜひ大杉さんの知見を頂きながら一緒に作られると僕は良いかなと思います。

【事務局】

はい、ありがとうございます。

よろしく申し上げます。

【加藤会長(オンライン)】

あと全体を通してちょっと言い忘れていたとか、確認したいことはありますかね。

大丈夫かな、ちょっと時間押しちゃったけど。

はい、申し上げます。

【中村委員】

一般公募の中村と申します。

アンケートのひな型の件で言いたかったのですが、アンケートを取るにあたって、できれば〇×式の上の方のものがいいと思うんです。

記述式は長いと書きにくい人もいるものですから、できればすぐにアンケートに答えられるような、答えを出そうかなという気分させるような、そんなアンケートをお願いしたいと思います。

【加藤会長(オンライン)】

はい、わかりました、中村さん。

貴重なご指摘ありがとうございます。

アンケートのひな型を検討するとき、なるべく答えやすいような選択式、〇をつけるだけで済むようなものや、もしくは若い人向けに google フォームでそのままスマホで答えられるだとかそういうものが段々整備されていくと良いですね。

あと地域ごとにそれをアレンジして使える、この設問うちはいらないよね、うちは外国人多いからこれ加えようとかね、そういうことができるようなものが段々整備されていくと良いなと僕も思います。

ただこれは事務局の負担もあるでしょうし、大杉さんの協力を期待したいと思いますし、そうやってこの会を機に新しい仕組みが生まれるといいかなと思っております。

この手引き書自体はよく作られていると思いますので、小牧市さんの財産になると思います。

でも皆さん仰られたようにこれがあれば未来はバラ色なわけじゃなくて、これをどうやって使っていくかだとか、どうやってアクションに繋げていくかだとか、具体的にさっきの伊藤先生の話じゃないですが、イベントに来てもらって、そこからやっぱり困っている人を拾ってこっちに繋いでいくかだとか、そういうのが共通の意識になるように、そのようになっていけばいいと思います。

手引き書は本来、目的を果たすためのツール、道具でしかない。

その道具を使ってどうやって地域をより良くしていくかということをお忘れないように、それはみんなでこういうことを勉強するとか、地域に配るときに申し添えて共有していければいいんじゃないかと思います。

じゃあ、あと時間、11時30分に終わろうと思いますが、その他の方に入っていくといいかな。

では最後、その他のほうをお願いしていいですか。

【事務局】

はい、ではその他としまして次回以降の会議予定につきまして私の方からご説明させていただきます。

令和3年度の小牧市地域協議会推進市民会議につきましては、第2回を8月頃、第3回を11月頃、第4回を年明け2月頃に開催したいと思っておりますが、何分こういった情勢ですので、変更の可能性はあります。

また、第2回以降の会議につきましてはこういったオンラインと対面のハイブリッド型を基本にしていきたいなと思っておりますので、もし今日のオンラインで参加されている方以外にもオンラインで参加してみたい、またはできるという方が見えたら、積極的にオンラインでの参加にご協力いただけると助かります。

以上で説明終わります。

【加藤会長(オンライン)】

はい、ありがとうございます。

先程の説明について質問とか大丈夫かな。

[質問なし]

【加藤会長(オンライン)】

これは僕から事務局へのお願いなのですが、カメラの位置、この位置で定点というのはちょっと正直分かりにくい。

誰がいるかも、誰がしゃべっているのかも分からないので、定点で撮るならもう少し良い位置にさせていただかないと、ちょっとリモート側としては何だか分かんない。

できれば2台あって1台は動いて発言者を撮ってもらいたいです。

初回なのでしょうがないですけど、もう少し工夫をされると、せめてもう一台カメラがあると大分違うかなと思います。

あとはハイブリッドはやっぱり大変なので、リモートで参加できる人が増えるのであればリモートで統一出来たら一番本当はやりやすいかもしれないと思います。

これは僕からのアドバイスということで。

【関委員(オンライン)】

ごめんなさい、あと1点よろしいでしょうか。

今、ワクティブこまきの方で「ゼロから始めるオンライン」という冊子を作成させていただきました。

こちらは無料配布で、窓口で配布をしておりますので、ZoomだけではなくLINEを使ったオンラインミーティングの方も簡単に書いてありますので、ぜひご相談、ご活用の方をお願いします。

それともう1つ。

6月5日に講座を企画しておりました、こちらはですね、実は前回の地域協議会の推進市民会議のグループワークで、僕が同じテーブルでお話をさせていただいた春日寺の防犯パトロール隊の梅田さんと中学生の取り組みをぜひ市内に広げていきたいということで講座を企画させていただきました。

6月5日だとちょっとコロナが心配ではあるんですけど、こちらYouTubeでオンライン配信もさせていただきますので、講座が終わった後にはワクティブこまきのHPから講座の内容を見ただけのように準備をさせていただきますので、ぜひ皆さん参考にしていただければと思います。

すので、よろしく申し上げます。

【加藤会長(オンライン)】

素晴らしい。

すごい良い前振りをしてしまったね。

そのアーカイブに残るのは誰でも見えるんだよね。

【関委員(オンライン)】

はい、そうです。

HPからすぐ分かるようにさせていただきますのでよろしく申し上げます。

【加藤会長(オンライン)】

ありがとうございます。

じゃあぜひぜひ皆さんリモートにちょっと強くなっていただいで、次またお会いできるのを楽しみにしております。

では、拙い進行でしたが、事務局にお戻ししたいと思います。

本日はありがとうございました。

【事務局】

加藤会長、ありがとうございました。

委員の皆様におかれましても大変貴重なご意見たくさんありがとうございました。

皆様のご意見を元に、地域協議会の手引、より良い手引を作成していきたいと考えておりますので、また今後ともよろしく申し上げます。

また、本日はハイブリッド形式ということで初めて開催をさせていただきましたが、事務局も本当に不慣れでありましたので皆様には本当にご不便をおかけしましたが、円滑な議事進行にご協力いただきまして本当にありがとうございました。

大変感染が広がっておりまして、市といたしましても1日も早く新型コロナが収束しまして、以前のように地域活動が活発に実施されることを願っております。

委員の皆様におかれましても感染対策は徹底されて、ご自愛いただきますようお願いいたします。

それでは、これで第1回地域協議会推進市民会議を閉会いたします。

皆様、どうもありがとうございました。

お疲れさまでした。